



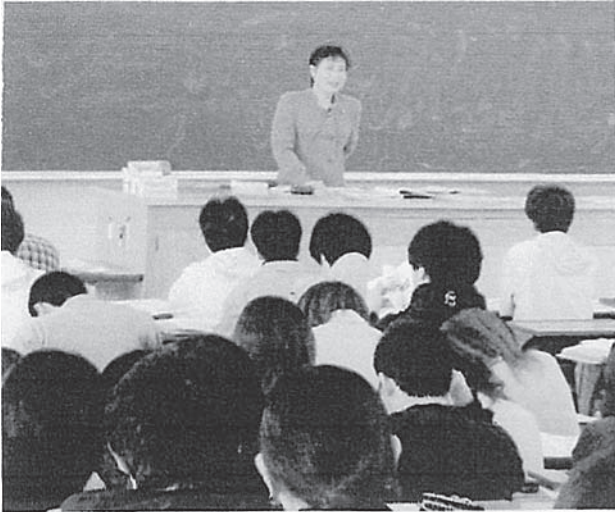
大垣 照子 議員

質問

中・高校生に正しい性教育を

教育長

指摘内容も校長会等へ伝える



性教育の正しい知識は

質問 昨秋から性加害・性被害問題が多く報道され、男子・女子・若者や大人の性被害続発に大きな怒りを覚える。中学生は思春期を迎え、社会に送り出す前の高校生に、正しい知識をしっかりと教えることが重要。中学生・高校生への性教育について、その人材もあるが本町の取り組みは。

教育長 小・中学生では、発達段階に応じた性教育を行っている。子どもが直接専門家から話を聞き、問題を身近に感じながら性教育をすることは大変重要。指摘内容についても校長会等に伝え進める。

質問 町長は、こども家庭センターを新設し、妊産婦や子育て環境の包括的支援

を表明。サービスの効率化・迅速化に職員的大幅な増員が必要。こども家庭センター運営の考えを問う。

町長 こども家庭支援課内にセンターを設置し、センター長、統括支援員、保健師や児童福祉担当の支援員等、一体的相談支援のための職員体制を整える。

質問 総勢何人ぐらいか。
町長 実際の業務は兼務もあり、2人程度の増員。

防災訓練について

質問 島根半島には、原発もあり、大地震発生時には、原発被害の予想もしなければならぬ。地震と原発事故が同時発生なら、逃げ場を失い命を落とすことも懸念される。これ等を想定し住民を交えた防災訓練が必要では。

質問 本町の地域防災計画には、原発災害時の計画はない。県との対策を検討すべきでは。

島地震の教訓から島根県でもヘリ空輸の報道もある。本町の受け入れ態勢や今後の対応を考えたい。

総務課長 県と意見交換したい。能登半

町長 地震災害時の防災訓練も必要。消防団や関係者の皆さんと一緒に取組みたい。



能登半島地震ヘリ救助